取材のご案内

Takushima Group

報道関係者各位

2025年11月18日

陸上100mプロスプリンター池田成諒　宅島グループ所属で世界へ！
日本代表となって『地元長崎から世界へ』を掲げ、所属契約締結！
2026年12月1日調印式（雲仙市小浜町・宅島建設株式会社本社にて）
宅島建設は、これまで行ってきたサッカーやグラウンドゴルフに、陸上競技を加えたスポーツ活動を支援！
若者の夢に寄り添い、新たな地域の元気づくりに向けた取り組み拡大

宅島グループ（グループ統括事務所：長崎県諫早市津久葉町：代表　宅島寿孝）は、総合建設業として地域社会の発展の貢献に向き合っています。特に、若い人の夢に寄り添う事業や地域活性化に力を入れています。

この度、陸上競技国内外で活躍する池田成諒選手が、**2025年12月1日より当グループ所属として活動**することが決定しました。

池田選手はプロ陸上競技選手として、**2027年北京での世界陸上、2028年ロサンゼルスオリンピック**に出場することを**ミッション**として掲げています。

これまでの実績や経験、この間学んだ科学的アプローチに基づくトレーニングで、今の夢をミッションとして形にする覚悟をしました。

池田選手が地元長崎で行う活動や、世界に向けて夢を追い挑戦する姿勢を、多くの皆さんに知ってもらう中で、若い世代の皆さんが共感され、一人一人が動き出し、それが連動して**地域の活力が生まれることを期待**しています。

活動内容

宅島グループでは、これまで「宅島グループ杯（サッカー）」をはじめ、若い世代の夢を応援する活動を続けてきました。今回、陸上競技という新たなフィールドに所属契約を交わして池田選手を迎えることで、サッカーとは異なる軸で若者への支援の輪を広げます。

今までの中学サッカー競技の支援（宅島グループ杯：33回開催　2025年　107チーム参加）には、県内サッカー関係者を中心に多くの感謝の声をいただいてきました。

今後は**陸上界において**も同様の取り組みを開始し、例えば、池田選手が直接高校陸上部などへの指導に継続的かつ定期的、そして直接関わる機会を作り、**地域への競技浸透や競技能力の向上を促進**します。トレーニング方法や食事（栄養）摂取についてもアドバイスも行います。

サッカーの大会ごと（年に一度）に支援してきたこれまでの当社のかかわり方とは、継続的にかかわる点が異なるところです。

また、池田選手との所属契約は当社が社外的な貢献を拡大するものですが、社内的にはシンボリックな存在として、池田選手の成績に一喜一憂するスタッフ間の仲間意識の向上にも繋げていきます

池田成諒選手のプロフィール

- **出身・学歴**

  2002年2月生まれ、長崎県島原市出身。三会小学校、有明中学校、島原高校理数科、 筑波大学体育専門学群、筑波大学大学院（コーチング論・トレーニング学専攻）

- **競技歴**

  5歳でレスリング競技を開始。小学5年で全国優勝。**中学から陸上競技**を始め、リレー競技で全国大会出場。**2019年・2020年には米国IMG Academyに短期留学**、科学的トレーニングを習得。

- **主な成績・記録**

  ○世界規模　**ユース五輪3位(2018)**ワールドツアー 、ブロンズメダル（2023）

  ○アジア規模　２位（2018, 2019）

  ○国内規模　国体優勝（2017、2019）
  インカレ優勝（2022）
  国内GPツアー4位・9位（2023）
  日本選手権（2023,2024,2025）

  ○自己ベスト100m　**10秒26(2024年、長崎県記録)**

  ○トレーニング　米国　IMGacademy(2019,2020)
  筑波大学体育専門学群、筑波大学大学院（コーチング論・トレーニング学専攻）

- **科学的アプローチと潜在能力**

  トップスピードは10.31（大学3年時）を記録し、歴代の9秒台スプリンターと同等の数値を叩き出すなど、先天的な才能を持つ選手です。プロ転向初年度にはスタート動作を改善し10秒26のPBを達成。今後、**9秒台突破への可能性**を秘めています。

- **今後の目標と展望**

  池田選手の視線は、すでに次のステージを見据えています。

  短期的には、1～2年以内に日本選手権での表彰台獲得、2026年アジア大会での金メダル、そして2027年北京世界陸上での日本代表入りを目標に掲げます。

  中長期的には、2028年ロサンゼルス五輪での決勝進出、さらにアジア記録への挑戦を視野に入れ、「世界で戦うスプリンター」としての地位を確立することを目指します。

  池田選手の挑戦の原点には、「ふるさと・長崎県島原半島への誇り」があります。

  自身を育ててくれた地域への恩返しとして、スポーツを通じて地元の若者たちに夢と希望を届けたいという思いが常に根底にあります。

  その姿勢は、結果を追うだけでなく、**後進の育成や地域スポーツの発展にも真摯に取り組む**池田選手の人間性を象徴していると考えています。

  このような思いに大いに共感したことが、今回所属契約を行った大きな要因となりました。

  2025年12月、**「地元・長崎から世界へ」**という信念のもと、宅島グループ所属へ。

  アスリートとしての挑戦を続けながら、**地域社会とのつながり**をより深め、若い人へ**夢を追いかけることのすばらしさ**を伝えていく、新たなステージへ踏み出そうとしています。

宅島グループについて(宅島建設株式会社について)

宅島建設株式会社（雲仙市小浜町）　株式会社クリーン雲仙（雲仙市）

大起建設株式会社（諫早市）　大石建設株式会社（佐世保市）

株式会社長崎西部建設（長崎市）　株式会社東邦（対馬市）

株式会社プラス建販（諫早市）

の建設業の7社を主体としたグループで、その他関連する事業を行う会社も有する

グループ代表宅島寿孝は宅島建設株式会社の代表取締役である

宅島建設株式会社

1946 年に創業した鉄工所から始まり、1951 年に宅島塩業有限会社を設立。

1956 年に宅島建設興業有限会社に社名変更を行い、建設業へ進出しました。

1970 年に宅島建設株式会社に組織変更し、**2026 年には設立75周年(創業80年)**の節目を迎えます。

当社は経営理念に**「感謝･誠実･報恩」**を掲げ、すべてに感謝し真心を込めて恩返しをすることをモットーとしています。

地域への主だった行動として、本年第33 回となった**「宅島グループ杯 長崎ジュニアユースサッカー選手権大会」**には、長崎県下の107チームが参加しました。スポーツを通じて未来を担う子供たちにエールを送る事業にも積極的に取り組んでいます。

さらに**自主制作ラジオ番組**（エフエム諫早：毎週放送**番組名『エール』**）では、県央地区の中学校・高校を中心に訪問し、スポーツ以外の分野でも熱心に取り組む学生とのおしゃべり会を収録し放送を続けています。本年10月に2年目に突入しました。

いずれも『若い人の夢に寄り添う企業活動』を意識して継続しています。

【会社概要】

社名 ： 宅島建設株式会社(宅島グループ)
本社所在地 ： 長崎県雲仙市小浜町南本町７番地22
代表者 ： 代表取締役 宅島寿孝
設立 ： 1951 年 3 月 26 日
事業内容 ： 総合建設業
宅島建設株式会社HP: http://takushima.co.jp

宅島グループHP　宅島建設HP　『エール』ラジオ番組

本リリースに関するお問合せ先

宅島建設株式会社広報担当:金谷　徳永
TEL:0957-75-0222　FAX:0957-74-5927
e-mail:a-tokunaga@takushima.co.jp